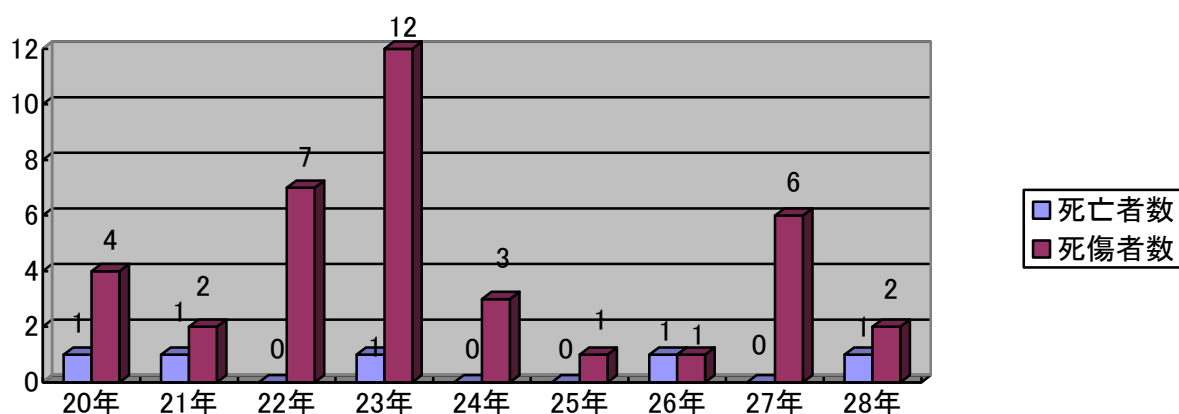


滋賀県の「熱中症」による労働災害の発生状況

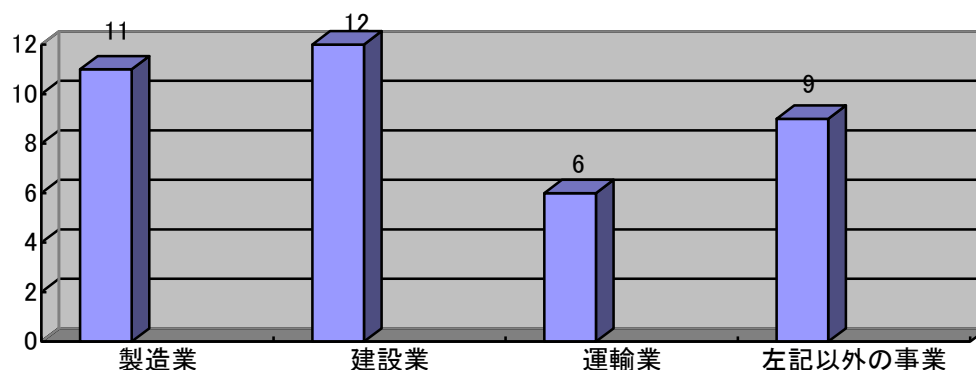
滋賀県における熱中症災害の発生は、平成 20 年から平成 24 年の第 11 次労働災害防止計画期間中の 5 年間に、28 件（うち死亡 3 件）発生した。第 12 次労働災害防止計画期間である平成 25 年から平成 29 年の 4 年目である平成 28 年までにおいては、10 件（うち死亡 2 件）発生し減少傾向である。

1 平成 20 年から平成 28 年までの期間における熱中症発生数



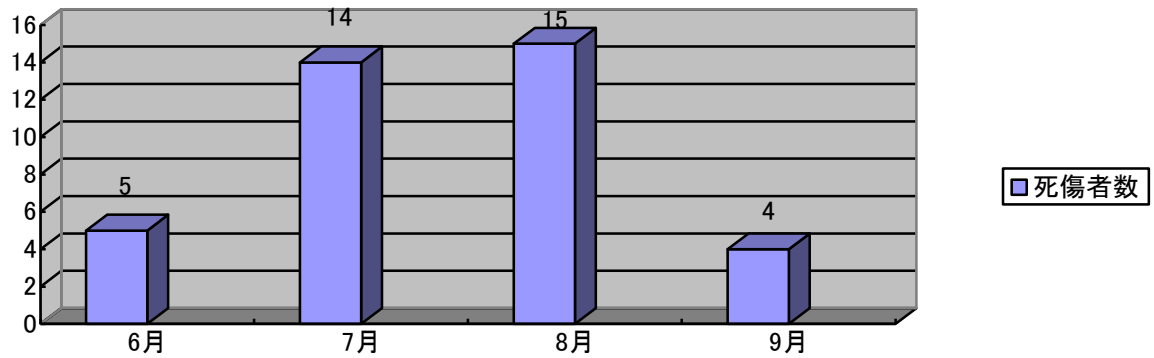
2 平成 20 年から平成 28 年までの期間における熱中症の業種別発生数

滋賀県の熱中症発生数は、この期間中で 38 件であり、建設業が 31.6%、製造業が 28.9% など発生している。製造業は、全国的に多い建設業と同程度を占めている。また、運輸業やそれ以外の事業も 39.5% を占めことが、滋賀県の特徴である。



3 平成 20 年から平成 28 年までの期間における熱中症の発生月別数

熱中症は、夏季の時期である 7 月から 8 月に集中しているが、その前後の 6 月、9 月も発生がある。死亡は、6 月から 8 月に発生している。



4 滋賀県の「熱中症」による労働災害発生事例の概要

全国的に猛暑となり熱中症が多発した平成23年から平成28年までの滋賀県における「熱中症による労働災害発生事例の概要」を、次のとおりまとめたものである。

(注：番号の口は死亡災害を示すもの。)

平成23年

番号	発生日	業種	年齢等	休業等日数	災害発生状況の概要
1	6月	木造家屋建築工事業	20歳代 男 経験 2ヶ月	4日	木造家屋工事現場で屋根瓦葺き替え作業で、屋根からモルタル瓦を降ろして、フレコンバックに詰め、 <u>10時</u> から休憩に入った被災者の顔色が悪く苦しそうであったので、職長が給水・保水をしたが、その場に倒れ腕を打撲した。救急病院に搬送したところ、熱中症と診断されたもの。
2	6月	その他の建築工事業	40歳代 男 経験 9年	2週間	被災者は、造園工事現場でトラックから砕石等の材料を一輪車で50m先まで移動作業中、 <u>13時頃</u> に熱中症で倒れたもの。なお、気温32度、作業時間2時間であった。
3	6月	その他の小売業	40歳代 女 経験 3年	1週間	被災者が給食センターの揚げ物室で調理作業中、気分が悪くなり室外で倒れ、救急病院で熱中症と診断されたもの。なお、室内温度は40度以上であった。
4	6月	電機機械製造業	30歳代 男 経験 3年	4日	被災者は、販売支援研修で <u>15時頃</u> に電気製品を客先に搬入している際に脱水症状を起し、水分補給し休憩をしたが、気分が悪いため病院で受診したところ熱中症、急性腎不全と診断されたもの。
5	7月	ビルメンテナンス業	20歳代 男 経験 3ヶ月	7日	ビルメンテナンス作業のため事業場に出向き、駐車場で作業中 <u>10時頃</u> に顔色が悪く座り込んでいる被災者を他の作業者が発見し、救急病院に搬送したところ、脱水症状による熱中症と診断されたもの。なお、被災者は9時30分頃まで日陰に入り水分を取る等の対応をしていたものである。
6	7月	ガラス・同製品製造業	40歳代 男 経験 5年	2週間	詳細は不明だが、被災者は暑熱作業において <u>21時30分頃</u> に熱中症で倒れたもの。

7	8月	プラスチック製品製造業	30歳代 男 経験 17年	5日	被災者は、7時前から22時までの勤務で、工場内の設備の入替作業を水分・塩分・休憩をしながら作業していたが、 <u>21時30分頃</u> に顔色が悪くなったため、他の作業者が救急病院に搬送したところ、熱中症と診断されたもの。なお、作業場所の温度は45度以上であった。
8	8月	貨物自動車運送業	50歳代 男 経験 2ヶ月	11日	被災者は、集配作業の運転手であり、客先での集配作業中、 <u>12時頃</u> に気分が悪くなり早退し、病院で受診したところ、熱中症と診断され入院したものの。当日の気温は35度以上、診断時の血圧は60まで低下。
9	8月	鉄骨・鉄筋建築工事業	60歳代 男 経験 40年	10日	被災者は、工事現場で作業中、 <u>10時頃</u> に気分が悪くなり病院を受診したところ、熱中症による急性腎不全と診断されたもの。
10	8月	機械器具設置工事業	20歳代 男 経験 2年	死亡	被災者は、工事先の工場で電気制御盤の設置作業を行った後に片付けをしていたところ、 <u>17時頃</u> 頭痛を訴えたため、休憩室で休憩するように同僚に言われた。その後45m程先で倒れている被災者を発見し、救急病院に搬送したところ、 <u>22時半頃</u> に熱中症による急性循環障害で死亡したものの。気温35度
11	8月	その他の化学工業	50歳代 男 経験 0年	6日	被災者は、工場内で材料の接着作業中、室内が暑くなったので、 <u>11時過ぎ</u> にスポットクーラーの当たる場所で座って休憩し、お茶を飲もうとした際に、意識を失って倒れた。多量の発汗と嘔吐があり受診したところ熱中症とされたもの。
12	9月	下水道工事業	40歳代 男 経験 29年	7日	被災者は、下水道敷設工事現場で作業中、 <u>13時半頃</u> に手足のしびれ等があったが作業を続け、次の現場に自動車で移動し、降車した際、意識を失い倒れた。病院に受診したところ熱中症とされたもの。

平成24年

番号	発生日	業種	年齢等	休業等日数	災害発生状況の概要
1	7月	その他の接客娯楽業 (ゴルフ場)	60歳代 女 経験 21年	10日	ゴルフコース内の売店で商品を販売していたところ気分が悪くなった。病院で、熱中症と診断されたもの。外気温は28度前後であり、売店にはエアコンは設置されていなかった。

2	8月	その他の接客 娯楽業 (ゴルフ場)	50歳代 女 経験 9年	1週間	被災者は、キャディであり、 <u>午後</u> のラウンドを終了して控え室に戻った際に、気分が悪くなり倒れたもの。
3	9月	貨物自動車運 送業	50歳代 男 経験 2ヶ月	9日	被災者は、配送作業の運転手であり、客先での荷卸し(手卸し)作業中、意識がもうろうとして、トラックの荷台の上に倒れたもの。

平成25年

番号	発生日	業種	年齢等	休業等日数	災害発生状況の概要
1	8月	その他の建築 工事業	30歳代 男 経験 1年	1ヶ月	<u>炎天下</u> の建築工事現場にて、補助作業に従事していたところ、気分が悪くなり、倒れたもの。

平成26年

番号	発生日	業種	年齢等	休業等日数	災害発生状況の概要
1	7月	その他の建築 工事業	40歳代 男 経験 1年	死亡	<u>工事現場</u> の周辺で、清掃作業に従事していたところ、倒れているのを発見されたもの。

平成27年

番号	発生日	業種	年齢等	休業等日数	災害発生状況の概要
1	7月	建築工 事業	20歳代 男 経験 1年4 月	9日	工事現場で通路・足場解体の作業を行い、 <u>午後</u> の休憩後に詰所を出たところで、手がすり座り込み急性腎不全で熱中症とされたもの。
2	7月	その他の事業 (測量 等)	20歳代 男 経験 2月	4日	山中で測量するため境界杭間をテープで繋ぐ作業中、多量の発汗と軽い頭痛があったが作業を継続していて、熱中症となったもの。
3	7月	農業	40歳代 男 経験 3年	2ヶ月	エンジン付き噴霧器を使用して、農地への除草剤散布を行っていたところ、気分が悪くなり、救急車で搬送されたもの。気温は37度で無風状態での作業であった。

4	8月	一般飲食店	30歳代 女 経験 10年	18日	食品調理で食材を焼いていた時、気分が悪くなり吐き気、身体のしびれなどの状態のため、病院に搬送されたところ熱中症と診断されたもの。
5	8月	その他の事業 (物品の販売等)	20歳代 男 経験 1年	1か月	顧客宅にて一日中、草刈と剪定作業をしていたところ、頭痛と倦怠感、発熱により、その夜病院に救急搬送され、熱中症と診断されたもの。
6	8月	その他の土石製品製造業	50歳代 男 経験 18年	6か月以上	工場の敷地内で、2名で除草作業中、一人が除草中の土手法面で意識が薄れた状態で倒れていたもの。

平成28年

番号	発生月	業種	年齢等	休業等日数	災害発生状況の概要
1	6月	その他の廃棄物処理業（清掃・と畜業）	50歳代 男 経験 2年	死亡	<p>事業場敷地内において、午後1時から午後2時30分まで草刈機で草刈りを行ったあと、1時間休憩を取り、その後、同僚と共に木の切り枝を回収する作業を午後4時まで行った。</p> <p>午後4時30分頃、被災者は嘔吐し、発汗が多かったことから熱中症が疑われ、救急搬送されたが翌々日に死亡した。熱中症を発症したものと推定される。</p> <p>環境省の「熱中症予防情報サイト」によると、作業をしていた地域における作業当日のWBGT値（暑さ指数）は、最大で28.4℃（午後2時）であった。</p>
2	7月	貨物自動車運送業	40歳代 男 経験 1年	4日	被災者は、貨物業務として集配先に行った際、午前11時前頃に気分が悪くなり、水分補給をしたが、体調が戻らず、病院に行ったところ、脱水症状を伴い熱中症と診断され4日間の休業となった。